【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【公表番号】特表2020-507687(P2020-507687A)
【公表日】令和2年3月12日(2020.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2020-010
【出願番号】特願2019-538528(P2019-538528)
【国際特許分類】
Ｄ０４Ｈ　1/4309　(2012.01)
Ｄ０４Ｈ　1/407　(2012.01)
Ｄ０６Ｍ　13/148　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　15/53　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　13/17　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/00　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/02　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/15　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/53　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/26　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/24　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/46　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/60　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/20　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０４Ｈ　1/4309
Ｄ０４Ｈ　1/407
Ｄ０６Ｍ　13/148
Ｄ０６Ｍ　15/53
Ｄ０６Ｍ　13/17
Ａ６１Ｆ　13/00　３０１Ａ
Ａ６１Ｆ　13/00　３０１Ｍ
Ａ６１Ｆ　13/00　３０１Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/02　３４５
Ａ６１Ｆ　13/15　１４２
Ａ６１Ｆ　13/53　３００
Ａ６１Ｌ　15/26　２００
Ａ６１Ｌ　15/24
Ａ６１Ｌ　15/46
Ａ６１Ｌ　15/60
Ａ６１Ｌ　15/20
Ａ６１Ｌ　15/22

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月25日(2020.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】
【請求項１】
繊維材料であって：
・非イオン性不織繊維の基材、
・水素結合を形成することができる少なくとも１つの基を含む薬剤である、少なくとも１つの追加の構成要素、
を含む繊維材料。
【請求項２】
前記基材が、非イオン性不織繊維のウェブである、請求項１に記載の繊維材料。
【請求項３】
非イオン性繊維材料が、ポリビニルアルコール（ＰＶＡ）、多糖、ならびに／またはポリエチレングリコール（ＰＥＧ）および／もしくはポリプロピレングリコール官能基を有するポリウレタンポリマー、ならびに／あるいはそのコポリマーを含むか、またはそれからなる、請求項１又は２に記載の繊維材料。
【請求項４】
非イオン性繊維材料が、架橋ＰＶＡを含むか、またはそれからなる、請求項２に記載の繊維材料。
【請求項５】
水素結合を形成することができる少なくとも１つの基を含む薬剤が、次の基の少なくとも１つを含む、請求項１～４のいずれか１項に記載の繊維材料：ヒドロキシル基、カルボキシル基、アミノ基、スルフヒドリル基、および／またはグリコシド連結部、ペプチド結合を包含するがこれに限定されない水素ドナー連結部。
【請求項６】
繊維材料中の薬剤の量が、複合材料の総体的な重量に対して相対的に１％ｗ／ｗ～４０％ｗ／ｗである、請求項１～５のいずれか１項に記載の繊維材料。
【請求項７】
さらに少なくとも１つの抗微生物薬剤を含む、請求項１～６のいずれか１項に記載の繊維材料。
【請求項８】
さらに、少なくとも１つの吸収性材料を含む、請求項１～７のいずれか１項に記載の繊維材料。
【請求項９】
水素結合を形成することができる少なくとも１つの基を含む少なくとも１つの薬剤によって処理されていない点以外は同一の繊維材料と比較して、本発明に従う繊維材料について、繊維材料の濡れ引張強度が少なくとも５％増大している、請求項１～８のいずれか１項に記載の繊維材料。
【請求項１０】
次のステップを含む、請求項１～９のいずれか１項に記載の繊維材料を作るためのプロセス：
・不織基材として存在する少なくとも１つの非イオン性繊維材料を提供すること；
・前記少なくとも１つの非イオン性繊維材料を、水素結合を形成することができる少なくとも１つの基を含む少なくとも１つの薬剤と接触させること。
【請求項１１】
さらに次のステップを含む、請求項１０に記載のプロセス：
・互いと接触させられている非イオン性繊維材料および薬剤を乾燥すること。
【請求項１２】
水素結合を形成することができる少なくとも１つの基を含み、かつ少なくとも１つの非イオン性繊維材料と接触させられる少なくとも１つの薬剤が、液体中に溶解または分布している化合物として提供される、請求項１０または請求項１１に記載のプロセス。
【請求項１３】

家庭製品、化粧品、衛生用品、女性用衛生用品、おむつ、吸水性パッド、創傷処置、または創傷ケア処置における基材／担体材料としての、請求項１～９のいずれか１項に記載の、または請求項１０～１２のいずれか１項に記載の通り製造される、繊維材料の使用。